

2026 年度事業計画

- (1) **ダイアベティスに関するアドボカシー活動と予防及び治療に関する正しい知識の普及啓発事業**
ダイアベティスのある人が直面する社会的障壁を払拭し、ダイアベティスがあっても社会で活躍できる環境づくりを目指して、以下の諸活動を展開する

【市民向け】

- 1-1 「さかえ」の発行
協会誌として雑誌媒体と Web ページで発行する。双方の媒体の特性を活かし、ダイアベティスのある人、家族、予備群に対するダイアベティスの正しい知識の情報提供と啓発を行う。
- 1-2 ダイアベティス関連書籍の発行
「糖尿病食事療法のための食品交換表」、「糖尿病食事療法のための食品交換表活用編」、「糖尿病性腎症の食品交換表」、「糖尿病治療の手びき」を発行する。
- 1-3 ダイアベティスウィークの実施
11 月 14 日を含む 1 週間をダイアベティスウィークとし、日本糖尿病学会との共催で、JADEC 各都道府県（都道府県糖尿病協会）でダイアベティスに関する講演会、血糖測定、医療相談、栄養相談の事業を実施する。
- 1-4 啓発イベントの実施
企業等との共催により、社会に対しダイアベティスの正しい知識を発信するイベントを実施する。
- 1-5 World Diabetes Day イベントの実施
日本糖尿病学会・JADEC で構成する実行委員会に協力し、World Diabetes Day の認知向上とダイアベティスの知識の普及啓発活動を推進する。
- 1-6 Team Diabetes Japan の運営
国内外のマラソン大会等への参加を通じて、ダイアベティス予防や治療についての知識啓発を行う。
- 1-7 ダイアベティスウォークラリーの実施
ダイアベティス治療における運動療法の大切さを啓発する目的で、「歩いて学ぶダイアベティスウォークラリー」を都道府県糖尿病協会、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社との共催で実施する。
- 1-8 KiDS プロジェクトの展開
小児糖尿病の正しい理解促進を目的に、教職員を対象とする出張教室を実施する。1 型ダイアベティスと並行して小児 2 型ダイアベティスの啓発にも注力する。1 型ダイアベティスの児童が在籍する特別支援学校での支援も強化する。
- 1-9 就労と治療の両立支援
就労世代への啓発として、企業・患者・医療者それぞれに働きかける事業を実施する。
- 1-10 デジタルツールによる知識の普及
治療支援 DVD シリーズやウェブサイト、ダイアベティス学習アプリでの情報発信により、合併症予防の啓発を行う。
- 1-11 ダイアベティス関連企業 EXPERT 社員認定制度
ダイアベティス関連企業の社員に対する啓発として、JADEC e ラーニングを活用した教育と認定試験を実施する。

- 1-12 ダイアベティスケアを解説する啓発資料の開発
食事・運動療法啓発資料シリーズの充実をはかる
- 1-13 肥満部会
肥満を糖尿病の前段階と位置づけ、ポスター、Web サイト等を活用して、就労世代に向けた啓発を強化する。また、食事療法冊子シリーズの新刊として、「食事療法はひふへほ」の発行を目指す。

【医療者向け】

- 1-14 登録医・糖尿病認定医・登録歯科医制度の展開
JADEC 登録医・認定医制度の充実とともに、日本歯科医師会とともに登録歯科医制度を推進し、糖尿病専門医と非専門医、歯科医師との連携強化を図る。
- 1-15 CDE ネットワークの運営
CDEL 養成団体の活動を支援する。JADEC 年次学術集会や CDEL 情報発信サイト、CDE ネットワークブロック別運営連絡協議会の活動を通じて、CDEL 団体の情報交換・交流の機会を提供し、CDEL の質の向上と団体間のゆるやかな連携を促進する。
JADEC 主催の CDEL 向け教育研修会を設定し、各団体に認定・認定更新用として提供する。
- 1-16 ダイアベティスカンパセーション・マップ™を活用したダイアベティス学習支援の普及
カンパセーション・マップの発展的展開を目指して、マップの改訂や「肥満」マップの制作を行う。従来のダイアベティス領域から肥満領域にも対象を拡大する。
「ダイアベティスカンパセーション・マップ™」を使用してダイアベティス学習支援を行う医療スタッフを育成する各種トレーニングを CDEL 養成団体と共催で実施する。
- 1-17 JADEC カードシステム®を活用した診療支援の普及
- ・JADEC カードシステムの普及に向け、実地講習会と動画視聴による自己学習を並行して実施する。
 - ・デジタル版カードシステムを、病院・診療所での利活用に向けて普及を進める。
 - ・糖尿病腎症重症化予防にあたる地方自治体でのカードシステム導入を推進する。
 - ・生活習慣病管理料支援セット、薬剤師向けセットの周知と導入促進を行う。
 - ・企業の協力を得て、カードシステムミニレクチャーを実施する。
- 1-18 JADECe ラーニングの運営
コンテンツの充実化を図るとともに、年次学術集会教育講演のコンテンツ化を通して、医師、歯科医師、CDE、ダイアベティス関連企業 EXPERT 社員等にダイアベティスケアの学習機会を提供する。
- 1-19 JADEC 年次学術集会の開催
第 13 回 JADEC 年次学術集会を、津村和大会長のもと、7 月 18-19 日に国立京都国際会館で開催する。テーマは「本質を見抜くチカラ 未来への扉を開く勇気」とする。
広くダイアベティスケアに関わる人々の情報交換とスキルアップによりダイアベティスケアの発展に寄与することを目指す。
- 1-20 地域での医療者対象啓発活動の支援
登録医・糖尿病認定医・登録歯科医・CDE を対象とした講習会をはじめ、医療者を対象としたダイアベティスに関する適正医療の普及・啓発に向けた地域での活動を支援する。
- 1-21 医療者・介護支援者の連携強化
ダイアベティスのある高齢者の在宅医療支援強化を目指して、医療者と介護支援者との情報交換

を促進する。「JADEC 在宅医療支援 Q&A 集」の充実を図る。

1-22 動画資料による学習支援

e ラーニング、医療スタッフ向けの教育 DVD 等の活用により、チーム医療の浸透と医療者のスキルアップを支援する。

(2) ダイアベティスの予防及び治療に関する調査・研究事業

2-1 調査研究

- ・経口ダイアベティス治療薬(インクレチン関連薬を含む)投与に関する実態調査研究(UNITE Study)学術誌に論文を投稿する。
- ・インスリン製剤とシタグリプチン併用による有用性の検討-前向き観察研究-(I-UNITE Study)学会での報告ならびに学術誌に論文を投稿する。
- ・トホグリフロジンの安全性および有効性の検討-前向き観察研究-(AYUMI)学会での報告ならびに学術誌に論文を投稿する。

2-2 研究助成

- ・ダイアベティスケアに関わる人材育成を目的に、臨床的・基礎的な研究を行う若手研究者を対象として、若手研究者助成を実施する。
- ・メディカルスタッフによる研究実施を支援し育成を図るとともに、患者支援をテーマにしたエビデンスを創出することを目的に、ダイアベティスケアに従事するメディカルスタッフを対象として、メディカルスタッフ育成研究助成を実施する。
- ・JADEC 研究・教育基金を活用した研究助成を実施する。

2-3 「人を対象とする生命科学・医療系研究」の倫理審査

ダイアベティスケアのエビデンス作成に向けたメディカルスタッフの研究実施環境の整備として、ダイアベティスに関する研究の倫理審査を行う。

(3) ダイアベティスのある人及び家族に対する支援事業

3-1 友の会の活動支援

全国のダイアベティス友の会の活動を活性化するための施策を実施し、会員相互の交流を支援する。また、友の会活動を核として地域のダイアベティス対策に貢献できる人材育成を目指す。

3-2 ダイアベティスケアに役立つ協会グッズ、冊子類の発行

- ・JADEC 連携手帳、自己管理ノート、ID カード等の協会グッズの一層の利用拡大を目指す。
- ・食事療法を平易に解説した冊子シリーズの発行ならびに普及を促進する。

3-3 小児ダイアベティス対策

- ・ダイアベティス・キッズキャンプの主催

ダイアベティスのある子どもの医療教育を目的とするキャンプを日本財団の支援を得て開催する。

ダイアベティス・キッズキャンプの運営にあたるスタッフを対象とする研修を実施し、キャンプの質の向上を目指す。

- ・ロジャー・モーアプロジェクト

発症間もない1型ダイアベティスの子どもと家族を対象とする全国交流会を実施する。

1型ダイアベティス発症の子どもと家族向けに、発達段階ごとのサポートブックを発行する。

各種関係機関と連携して、ダイアベティスのある子どもの学校環境の向上を目指す。

- ・1型糖尿病に関する移行期委員会への協力

日本小児内分泌学会・日本糖尿病学会・JADEC 合同の移行期委員会に委員を派遣し、移行期医療チェックリストの普及やコーディネーター制度の運用を支援する。

- ・次世代リーダー育成

各地で活躍する若手の1型糖尿病患者を次代のJADEC活動の担い手として育成するための教育研修会を開催する。

3-4 インスリンメンターの活用

インスリン治療を行う患者にピアサポートを行うインスリンメンターを、小児糖尿病関連事業に派遣する。また、各種学会や教職員向け研修会等にも派遣し、小児糖尿病の啓発を行う。

3-5 高齢者糖尿病対策

糖尿病のある高齢者対策として、介護現場における医療や生活面での指針をまとめる。

(4) 糖尿病に関する海外関係団体との連携事業

4-1 IDF、IDF-WPR

IDFの各種会議に参加し、JADECの活動を海外に紹介する。

4-2 AASD

- ・運営助成金を支出するとともに、事務局業務、年次学術集会の支援を行う。

- ・AASD Scientific Meetingでの共催プログラムやアジア地域のフットケア・栄養プロジェクト等の開催協力を行う。

4-3 中央アジアプロジェクト

中央アジア地域の糖尿病ケア支援の目的で、同地域の若手研究者の日本への留学支援を継続する。

(5) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

5-1 会員増強

友の会会員、個人会員の属性やニーズを分析し、それぞれにあった入会促進策を実施する。

5-2 JADEC 各都道府県（都道府県糖尿病協会）の運営支援

地域の糖尿病対策の充実および会員増強を目指し、JADEC 各都道府県に対し地域活動費を支出するほか、糖尿病啓発に役立つ資材を提供する。

5-3 サポーター制度の周知

小児糖尿病と国際支援事業のサポートを目的とする、個人の賛助会員であるサポーターの増加を目指す。

5-4 他団体との連携

- ・CDEJ および CDEL

各地のCDEL養成団体の活動を支援するため、補助金を支出するほか、CDEネットワークブロック別運営連絡協議会を通じてゆるやかな連携を促進する。

- ・日本歯科医師会

日本歯科医師会と連携して医科歯科連携を促進する。eラーニングによる学習機会を拡充することにより、登録歯科医の登録・更新増を目指す。

- ・日本糖尿病対策推進会議

日本糖尿病対策推進会議の幹事団体として、推進会議加盟の各団体と連携して糖尿病性腎症重症化予防など、国内の糖尿病対策事業を実施する。

- ・日本病態栄養学会
食事療法啓発資材の制作や学術集会のプログラム共催で連携する。
- ・日本くすりと糖尿病学会
ダイアベティス医薬品・医療機器等適正化に関する周知で連携する。
- ・日本理学療法学会
学術集会のプログラム共催で連携する。

5-5 災害時危機管理対策

- ・災害時ダイアベティス医療支援チーム（DiaMAT）組織化と活動
メディカルスタッフ(CDEJ、CDEL 有資格者)の DiaMAT 登録を促進する。災害時に連携可能なブロックごとの医療者の人材育成とネットワーク化を推進する。
- ・JADEC 公式 LINE アカウント運用
インスリン治療を必須とするダイアベティスのある人を対象として JADEC 公式 LINE アカウントを活用して災害時に支援が必要な人の登録を進める。
- ・防災資材の配布
災害時に役立つ情報をコンパクトにまとめた防災資材を HP で提供する。

5-6 広報事業

ダイアベティスの正しい知識、協会事業、入会の案内等の情報を掲載し、JADEC の認知度向上を目指す。

- ・AC ジャパンの支援キャンペーンとして、社会に糖尿病の正しい理解を促すテレビ・ラジオ CM の放映と、新聞・雑誌・交通機関での広告を展開する。支援キャンペーンの開始に合わせ、ホームページの一層の充実を図る。
- ・JADEC の認知度を向上させ事業効果を高める目的で、プレスリリース配信やメディアセミナー開催により、マスメディアに対する広報活動を行う。
- ・呼称案「ダイアベティス」の普及活動を行う。
- ・facebook、Instagram 等 SNS を活用した情報発信を行う。

5-7 ダイアベティス医薬品・医療機器等適正化

- ・インスリン注入器や、血糖自己測定器等の医療機器の適正使用に向けた啓発活動を行う。
- ・在宅医療廃棄物の適正処理に向けた啓発活動を行う。
- ・インスリン製剤のカートリッジ化についてプロジェクトチームで活動する。
- ・災害時のインスリン製剤の取り扱いに関する提言をまとめる。

5-8 製薬・医療機器・その他企業との連携

- ・各企業が企画する市民向け啓発事業の監修、共催、後援等を通じて、正しい知識を啓発する。
- ・各企業が患者向けに制作する情報提供資材の事前検証を行い、偏りのない正しい知識の普及を目指す。

その他

その他当協会の目的を果たすために必要な事業を、理事会の承認のもと実施することとする。